

ごんべえ通信

不定期 思いつき発行



創刊インタビュー

鈴木ごんべえ
ごん整体院の施術とは

ごん整体院の施術を他人に説明するとなると難しい。整体院だけど、実際に施術を受けてみると普通の“整体”とは違うような・・・今回、皆さんがどんな施術を受けているのかを知っていただくことを目的にごんべえ先生にインタビューを行いました。

先生は患者一人一人に合わせ施術方法を変えており、あくまで大まかなものとして読んでいただければ幸いです。（インタビュアー 浅見）

鈴木ごんべえ インタビュー

—ごん整体院で行われる施術はどんなもの？—

整体院と言いましても、よく言われる整体とは違います。大雑把に言うとカイロプラクティックとオステオパシーの両方の技術を取り入れた施術です。2つをざっくり定義すると、カイロプラクティックが神経系、オステオパシーが筋骨格系と言えますが、その双方の良いところを取り入れた上で、これまで10000人以上診てきた経験から施術法を作り上げています。

国内最大の業界団体パシフィック・アジアカイロプラクティック協会でカイロプラクティックや神経学、解剖学、頭蓋仙骨療法を学びつつ、オステオパシーの技術を習得していきました。見識を深めるためハワイ州立大学で解剖学を修めたり、今でも日々勉強です。

カイロプラクティックやオステオパシーには、一応決まった施術方法がありますが、それが全てではなく実践で学ぶ技術がたくさんあります。今でも学んだことを自分なりに吸収し常に施術を変化させているので今日話したことも、今後変わっていくかもしれません（笑）

からだ対話し 治癒を促す

—バキバキ音を出す施術ではないですね—
一般的なカイロプラクティックというと音を鳴らすイメージですが、外部から強制的に動かすというより、体に刺激を与えて患者様の体に悪い部分を認識させて、ご自身の筋肉を使って良くするという施術です。
赤ちゃんだと寝返りを打ったりして、自身の力で体を整えることが出来るのですが、歳を重ねると体が固くなりそれができなくなる。
患者様の凝り固まった体をリラックスさせて、からだ対話をし、患者様の体の指示に従って僕が良くなる方向に促すというイメージです。

—からだ対話するというのは—
これは説明が難しいですね。
僕は幼い頃から相手の不調に気づいたり良くなることあって。例えば、耳鳴りがするという友人を診て“側頭骨に軽く触れることで良くなる”というのが分かる。
高校時代でも、モデルデッサンの授業でモデルを見て、右奥歯の虫歯と腰痛があることを言い当てたり。でも、なぜそうなのかが分かりませんでした。
専門的に学んでから、“こういう仕組みだから良くなる”というのが分かり、感覚を活かせるようになったわけです。
この感覚を施術に生かしているのが、からだとの対話に繋がっているのかもしれない。これを説明するのは難しいです。

—脳が施術で大事なポイントだと伺いました—
体は日々ダメージを受けていますが、これを回復させようと命令を出しているのは脳です。脳が痛みを認知させダメージへの回復命令を常に出しているわけです。施術をすることによって器官一つ一つの状態を脳に意識させ回復を促し治癒能力を高めています。

—西洋医学にはない観点ですね—
心臓の動悸を治したいという女医さんが来たことがありました。彼女は医学の知識があるので、病院で治療した場合の結果が分かるんですね。それで来院されたわけです。僕は動悸の原因が背中の硬縮から来ていると感じて、施術した結果、状態が良くなりました。この発想は西洋医学では難しい。
長いこと通院したけど良くならなくて、ここに来る人が少なくありません。本来、人は悪いところを良くする力があるわけですが、病院は良くなるまでの痛みを和らげたりするのが目的だから、治癒にも時間がかかります。

心とからだに向き合い 耳を澄ます

—ごんべえさんが目指す治療とは—
「腰痛を治したい」と来院する方がいます。それは痛みが“出る前”の状態にしたいということです。でもそれだと、またすぐに元に戻ってしまいます。当院が目指すのは腰痛が“出る前”よりも良い状態にすること。
痛みで出来なかったことが出来るようになる。なりたい姿になって、心も若返る。人生目標を見直したり、思い出したり、実行したりする状態になってもらうのが目的。
僕がやっていることはからだ自然に回復するお手伝いです。患者様の心とからだに向き合い耳を澄ませ、本来ある自身の能力が発揮できる環境を整えるのがごん整体院の施術と言えます。